



江端（佐治）ひとみ

第35回は、看護師でケアセラピスト本部講師の、美島めぐみ講師の活動をご紹介します。

高齢者の予防的スキンケア ～医療と介護の周辺産業～ ケアセラピストとしての活動

私は看護師、ケアセラピスト認定講師、ケアセラピスト（ネイルケア）として活動しております、美島めぐみと申します。

私は普段、自立に近い事業対象者様や医療依存度の高い要介護5の認定を持つ利用者様など、幅広くお受入れをするデイサービスの管理・看護業務を行う傍ら、ケアセラピスト養成講座の開催、またケアセラピストとして活動しております。



看護師 / ケアセラピスト講師
美島 めぐみ

ケアセラピストとの出会い

私とケアセラピストとの出会いは、看護学生だった頃。

バイト先の診療所で看護師さんが患者様の爪を切っている光景をよく見かけました。

患者様は皆さまシルバーカーを押して歩かれるようなご高齢で、「今日も足の爪切ってくれる～？自分では切れんでかんわ～！」と仰りながら、よちよちと歩かれる方ばかり…。

目も悪い、手も痺れている、足の感覚がない…、腰が痛くて曲げられない…。そんな高齢者様。

看護師さんは優しく、「ここすわりゃ～（名古屋弁）」と言いながら、爪を切っていましたが、時に、「この爪はきれんわ！難しい！」と、ねを上げることも…。

看護師＝爪切り当番！という暗黙の了解があるが、看護師は爪の切り方を習うわけではないし、看護師が皆、爪切りが得意というわけではない…と気づきました。

そこで、ネイリストの資格を取り、基本的な技術を習得。

その後ケアセラピストとして、各家庭・施設（有料老人ホーム様やサービス付き高齢者住宅様）様への訪問ケアを実施してきました。

巻き爪や肥厚爪など特殊なネイルケアの依頼もちろんありますが、やはり爪切りの依頼が多いのです！

どんな爪切りか… 巻いている爪のカット、拘縮のある方のカット、認知症で爪切りを嫌がられる方のカット…。

ご高齢者では、基礎疾患をお持ちで倦怠感が強い、また、脳梗塞後遺症で片麻痺がある…肩に脱臼癖がある…など、お身体の状態は様々です。

時にお時間を掛けお話を重視したり、時に手早くカットだけ実施！時に安楽を重視してベット上で…、全身掻きむしりがある方では次回訪問日を意識して爪を短めに！など、色々な高齢者様へのケアを実施

させて頂く中で、基礎疾患への理解、爪切りに掛ける時間、体位、身体の支え方、爪切りの技術、たくさんのスキルが必要であることを痛感しました。

白癬や爪周囲の炎症がある場合には医療機関の受診を促すことも必要ですし、医師からのアドバイスをいただき、フォローいただける環境でケアが必要な場合もあります。

現在の活動では医師より情報共有書をいただいた上で、安心して安全にケアをさせていただいています。

ケアセラピストの技術を未来へつなぐ

ケアセラピスト養成講座「ネイル基礎」を生徒様へお伝えしながら、ケアセラピストがどんなフィールドで求められているのかをお伝えしたり、何よりも技術習得していただけるトレーニング現場のご提供に力を入れています。

ご利用者様とふれあい、お話し、肌に触れることができるよう、スクール隣接のデイサービスセンター ハートピアあさいのご利用者様にご協力頂き、実習を行っております。

ケアセラピストとして独立された時、自信をもって活動して頂きたい。また、担い手を増やしたい！そんな思いで取り組んでおります。

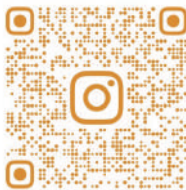
忙しい介護現場で「ネイルに対する悩み事の軽減」、そして「介護負担の軽減」のお手伝いができる事。何よりもご高齢者様の生活が快適に送られるお手伝いが出来ればと思っております。



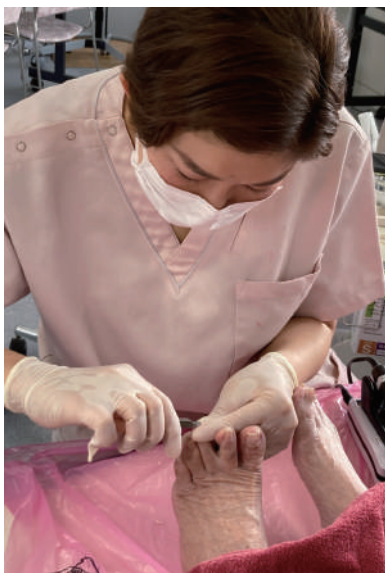
Follow Me!



Instagram



@CARETHERAPIST_GLORIA21
ぜひご覧ください！



シニア検定 / ケアセラピスト / ビューティケアセラピストはeラーニングで受講できます。
詳しくは [グローリア 21](#) [検索](#) [トップページをご覧ください。](#)